



NO.896

2012, 12, 2

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八三三
四三三-四四五八
F 四三三-四四五七



行動し提案する 日本共産党

菅原まこと(12区候補) 事務所開き



決意表明をのべる菅原候補

のみなさんへ支援のお願いがありました。

続いて、日本共産党後援会の渡部会長から総選挙で後援会として勝ち抜く決意が述べられました。

菅原候補は、次のように訴えました。

『予定候補になって8ヶ月経過し、オホーツク管内と宗谷管内を回る中で、年金生活をする方からは「年金が毎年下げられ今回の国会で、また2.5%下げられた。その上、消費税が10%と2倍引き上げになったら、どうやって暮らせばいいのか」と胸に迫る声がありました。TPPの問題では、JA農協の組合長や幹部の方が「共産党の言っていることは、私たちと一致している」とTPPのポスターを置かしてくれたり、全職員にあいさつもさせてもらいました』

『最後に、地域住民の様々な願いに答えることができるのは、どの問題でも具体的な政策と提言を示している日本共産党しか



テレビ局の取材を受ける菅原候補

松浦敏司網走市議の「団結がんばろう」を唱和して事務所開きが終了しました。

いっしょに東奔西走

合併し、合流していく様は何と言っているのか。

選挙戦は、事実上真つ只中ですが、第3極へのお墨付きをマスメディアにもらいたく、昨日できた新党が解体し、

本来政党とは、綱領(政党など団体の立場・目的・計画・方針または運動の順序・規範などを要約して列挙したもの)をもって国民の前に改革ビジョンを示すのが当然ではないか。民主党は綱領をつくれないうま党が溶け出し、自民党は綱領を持っていてもビジョンとよべる中身がなく、新憲法制定や社会保障否定の自己責任論しかないこと、乱造される新党は綱領以前の状態で、党そのものがどうなるかわからなく、特定の政策だけで解体・合流し、それが大事な課題であつても、それをやっていたら選挙のたびに解体、合流をやらなければならなりません。これでは、まともな政党とは言えず、「選挙目当ての離合集散」「政党の渡り歩き」と政治不信を広げるばかりです。だからこそ日本共産党は、日本の前途を開く綱領から「国民が主人公」への民主的改進黨を導き今回提起しています。安心して一票を投じられる綱領を持つ党をよろしく!

流水

何としても議席回復へ!
道政策委員長 はたやま和也

私からのご支援の訴えも、投票日前は今回が最後です。必ず北海道の衆議院議席の回復へ、お力をお貸しくください! 十勝管内の宣伝キャラバンは、日中でも氷点下並みの寒さでした。それでも外で話を聞いてくれる方の、握ってくれた手の温かさ。演説が終わった途端、団地の窓がバツ!と開いて手を振る姿も。自民党員という方まで、関心を持って演説を聞きにきてくださった町もありました。昨年、私たちのもとへ北電「やらせ」内部告発がありました。「原発で切り込めるのは日本共産党」と、関係者も認めているのだと思いました。▼全道でシンポジウム、学習会、共同の集会に独自の宣伝: : 政党は数多く増えたけど、TPP反対を行動で示したのは日本共産党だけだと胸を張りたい。▼どの町にも党地方議員がいて、支部や後援会の方がいる。だから生活や商売の大変さがわかるし、消費税増税反対の先頭にも立ってこれた。▼命懸けで戦争反対を貫いた歴史を持つからこそ、自民や維新の「憲法改悪」「核兵器容認」にも正面から日本共産党は立ち向かえます。▼生まれ故郷の宮城県石巻市をはじめ、いまだ復興と生活・生業の再建が進まない被災地の願いを、私も実現に向けてがんばりたい。▼定数八の比例選挙は、取れない議席ではありません。いや、必ず取らなければなりません。みなさんの声を届ける、確かな議席なのだから。投票日まで全力をあげます!

二〇一二年十一月二十六日